



# コツコツ とことん

大仙市立太田中学校  
令和5年3月10日  
NO. 135



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

## 明日は卒業式…33名の前途を祝して

明日3月11日(土)に、令和4年度太田中学校第61期生卒業式を挙行いたします。厳粛な中にも温かく心のこもった式典にすべく、本日卒業式予行を行いました。体育館に集まった子どもたちは、別れを前にどこか淋しげに見えましたが、予行の後には、1・2年生が3年生への感謝を込めて「旅立ちの日に」を合唱しました。明日は33名の門出を、在校生・職員一同心からお祝いします。



保護者の中には、お子さんが義務教育を終えるという方もおられることでしょう。本校としましては、これまでご支援いただいた皆様を送り出すことにもなり、淋しい限りです。皆様の力強い後押しをいただきながら、本校も61年の歴史を刻むことができました。これまで、本校教育活動に対しまして、多大なご協力をいただきましたこと、そして本校PTA活動発展にご尽力いただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。予行では、卒業式本番とは別に卒業生への感謝とメッセージを伝えました。

### 卒業式予行 式辞

冬休みが明けてから三月にかけては、月日が経つのが本当に早く感じます。在校生の皆さん、先生方、卒業式に向けての準備を進めてくださり、本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、明日はいよいよ卒業式を迎えます。卒業という実感は、まだないかも知れませんが、中学校生活を振り返れば、思うところたくさん出てくることでしょう。

多くの可能性と希望を胸に、母校から旅立つ皆さんに、私が話す機会は今日、明日と二回です。今日は、太田中の校長に加えて、皆さんより長く生きている人生の先輩として、伝えたいことの一つを話します。

これから皆さんは、これまで過ごしてきた環境よりも広い、太田という枠を超えた人間関係の中に身を置くこととなります。それは、年を重ねるにつれ、どんどん広がり、複雑になっていきます。そんな中で必要となることは「人としての強さ」です。

その「強さ」とは何でしょう？

私は「強さ」とは、「自分の価値観や主張を押し通し、相手に勝つ」ことではなく「優しさ」だと思っています。

では、「優しさ」とは?と言われると、いろいろな捉え方があるとは思いますが、「他を受け入れ、他を思いやり、他を助け、他と理解し合い、協力し合う良好な人間関係を築くこと」「相手意識」と言い換えてもいいでしょう。

『やさしくね、やさしくね、やさしいことはつよいのよ』  
「優しいことは強いこと なぜ優しいことは強いのか  
優しい人は許す心をもっている 許すことのできる人は心強い人」

国内最初の肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」を設立し、学園長を務めた宮城まり子さんの言葉で、私が大切にしていることばです。

「アリとキリギリス」ではありませんが、自分のことばかりで、他人のことを考えない。そんな人が他から心からの優しさを得られるのでしょうか？

人に優しくしてもらったら、そのうれしさ、感謝の思いから、他の人に優しくしようって思える、そんな優しさのスパイラルがきつとつくれるはずですよ。

皆さんには今後、学生・社会人・職業人・家庭人・地域人として果たすべき役割が生まれます。その役割を果たすことで、自分を高め、社会や地域に貢献し、家庭を守り、自分の生きがいや存在意義を見出すことができるのです。その役割を果たしていく人生の折々に、「優しさ」を心掛けることで、皆さんはもっともっと輝く存在になるはずですよ。

『やさしくね、やさしくね、やさしいことはつよいのよ』  
そんな気持ちをもつ人になってほしいと願っています。

明日は、別れの悲しみに涙が頬を伝おうとも、卒業生のすばらしい門出を、先生方、後輩、保護者、来賓の方々でお祝いします。

では、卒業生の皆さん、在校生の皆さん、先生方、明日はよろしくお祈りします。

令和5年3月10日

大仙市立太田中学校長 佐藤 嘉弘

## おめでとう ～太中生の活躍～

卒業式を前にうれしいお知らせをいただきました。太中生、太田地域関係者の皆様のおかげで、荣誉ある賞を受賞できました。ありがとうございました。

令和4年度全日本学校関係緑化コンクール (R5.3)  
学校環境緑化の部 準特選[全国第2位に相当]  
(国土緑化推進機構会長賞)